

Title	次世代人材の育成におけるメンタリングの活用とその事業化の可能性に係る考察
Sub Title	
Author	別宮, 真理子(Bekku, Mariko) 清水, 勝彦(Shimizu, Katsuhiko)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2016
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2016年度経営学 第3202号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002016-3202">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002016-3202</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2016 年度）

論文題名

次世代人材の育成におけるメンタリングの活用と  
その事業化の可能性に係る考察

主 査	清水 勝彦 教授
副 査	浅川 和宏 教授
副 査	岡田 正大 教授
副 査	-

氏 名	別宮 真理子
-----	--------

## 論文要旨

所属ゼミ	清水勝彦研究会	氏名	別宮 真理子
(論文題名)			
次世代人材の育成におけるメンタリングの活用と その事業化の可能性に係る考察			
(内容の要旨)			
1. 問題意識			
<p>日本経済・社会は今転換期にある。少子高齢化が進み、国内の市場は成熟期を迎えている。競争環境はますますグローバル化しており、テクノロジーの進化も著しい。Digital Disruption と呼ばれるトレンドからも、この先社会が予測できない勢いで変容していくことは容易に想像できる。このような社会を取り巻く環境を踏まえると、変化に柔軟に対応できる、グローバルに通用する人材が求められていると理解している。</p> <p>言い換えると、日本経済の閉塞感を打破するためには、日本の人材教育・育成の見直しが必要と考える。これまでとは異なるアプローチを活用し、これからの社会で通用するグローバルリーダの育成を主眼に、新たな人材育成のあり方を提案したいと考えた。</p>			
2. 研究テーマ			
<p>以上のような問題意識のもと、自身が着目したのは「海外マネジメント経験が豊富なシニア・エグゼクティブ」による「メンタリング」である。なぜなら、これらによって今求められている要素を培うような場を創出できると考えたためである。一方で、この事業を持続可能な仕組みとして成立させるためには様々な工夫が必要と推測された。そこで、「メンタリングの有効性と事業化するための仕掛け」を研究テーマとして論じることとする。</p>			
3. 仮説と仮説検証アプローチ			
<p>具体的な仮説としては、「メンタリング事業は新たな人材育成の場として有効であり、持続可能な収益構造を持ち得る」とし、以下のアプローチを用いて検討・検証を進める。</p>			
(1) 先行研究からの考察			
メンタリングの基本をおさえ、有効性について検討する。			
(2) 海外事例からの考察			
先進事例を調査し、メンタリング事業を成功させる秘訣を導き出す。			
(3) ユーザヒアリング・アンケート調査からの考察			
ユーザーニーズや懸念点を知り、事業化に向けた考慮点を導き出す。			
(4) 企業研究からの考察			
類似する人材プラットフォームビジネスを運営しているスタートアップの研究から、ビジネスとして成立させる鍵・成功要因を導き出す。			
(5) 検証 (ビジネスプランの考察)			
以上の考察をベースに、事業の有効性と成立するための仕掛けを明らかにする。その後、それをビジネスプランに落とし込む。			
4. 結論			
<p>このメンタリング事業は、「Envisioning (将来を見据える力)」「Problem-solving (現状を打破する力)」「Trusting relationship (信頼関係を醸成する力)」を養成する場になるといった効用が期待され、事業化できると結論づけた。事業化に向けては、考慮すべき点が複数あり、安定的な収益確保のためには様々な工夫を要することを具体的に明らかにした。</p>			